

株主の皆様へ

**SAKATA INX**

Visual Communication Technology

証券コード：4633

# 第142期 中間報告書

2019年1月1日～2019年6月30日

## C O N T E N T S

株主の皆様へ P. 1  
トピックス P. 2  
連結業績・財務ハイライト P. 3

連結財務諸表 P. 4  
セグメント別概況 P. 5  
グローバルネットワーク  
／CSR活動の取り組み P. 7

株主様向け情報 P. 8  
株式情報 P. 9  
会社情報 P. 10  
株主メモ P. 11

## 株主の皆様へ

To Our Shareholders

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
当社の第142期中間報告書(2019年1月1日から2019年6月30日)の業績概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国は景気の回復が続き、欧州は一部に弱さがみられるものの、緩やかな景気の回復が続きました。アジアにおいては、中国の景気が緩やかに減速し、通商問題の影響が広がりをみせたことなどにより先行きの不確実性が高まりました。日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続いたものの、海外景気の下振れなどが懸念される状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、各拠点での拡販に注力するとともに、環境に配慮した安全・省エネ志向製品や顧客ニーズに応じた地域密着型製品の開発、TPM活動の深化による生産性向上などに取り組みました。また、昨年の後半に原油価格が一旦下落したこともあり、印刷インキ全般の原材料価格が日本以外はピークを脱したものの、中国における環境規制の強化に伴う供給不足などにより、依然として高水準で推移していることから、更なるコスト削減を推し進めるとともに、販売価格の改定に取り組みました。一方、機能性材料事業では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液などの開発・拡販に取り組みました。

売上高は、アジア及び米州を中心にパッケージ関連の印刷インキの拡販が進み、機能性材料も堅調であったことに加え、新規連結や販売価格の改定による増収が寄与したことなどから、831億6千7百万円(前年同期比5.4%増加)となりました。

利益面では、印刷インキ事業において、原材料高が影響したものの、販売数量の増加や販売価格の改定効果が寄与したことなどから、営業利益は30億5千1百万円(前年同期比13.9%増加)となりました。経常利益は持分法による投資利益が減少したことなどから、37億1千8百万円(前年同期比5.0%増加)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、従業員向けの福利厚生施設に対する減損損失を計上したことなどから、23億8千6百万円(前年同期比8.5%減少)となりました。

なお、中間配当金は1株あたり15円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役  
社長執行役員 森田 耕太郎

2019年9月

## トピックス

### Topics

#### Bangladesh に進出

当社グループは、印刷インキの販売数量拡大などに対応するため、世界各地の生産体制の整備および拡充を行っています。

Bangladesh市場については、これまでインド子会社からパッケージ用インキを輸出しておりましたが、出荷数量が順調に伸びており、また、パッケージ用インキ需要の高まりに対応するため、2019年1月にBangladesh人民共和国に新工場を建設するための用地を長期リース契約により取得しました。

サカタインクスグループでは、地域に応じた戦略・展開を推進し、各拠点で将来も見据えた生産体制の充実を図ってまいります。



新工場建設地 (Bangladesh)

#### ウエストシカゴ研究所の拡充

2019年5月に、アメリカ中西部イリノイ州にあるウエストシカゴ研究所の拡張工事を実施しました。これは、アメリカ西海岸にあったインクジェットインキの研究開発施設をウエストシカゴの研究所に移管するとともに、施設を従来の約2倍に拡張し、研究開発の強化を目的としたものです。

これまでウエストシカゴ研究所では、印刷インキを中心とした研究を行ってまいりましたが、インクジェットインキなどデジタル印刷分野のインキも同じ拠点で開発することにより、新たなインキなどの開発において密接した連携をとれるようになりました。

今後は印刷インキとデジタル印刷用インキにおいて、開発・生産・販売をさらに強化し、シナジー効果の創出にも努めてまいります。



ウエストシカゴ研究所 (アメリカ)

#### 「PRINT CHINA 2019」に出展

2019年4月に、当社グループの中国4法人 (茂名阪田油墨有限公司、深圳阪田油墨有限公司、阪田油墨 (上海) 有限公司、阪田油墨 (中山) 有限公司) およびサカタインクスが共同で、「PRINT CHINA 2019」に出展しました。世界最大の印刷関連展示会「drupa」に次ぐ、中国で最大の印刷関連の展示会であり、今回は20万人を超える来場者となりました。

当社は総合インキメーカーとしての強みを生かし、紙メディア用、パッケージ用、金属缶用などの多様なインキ製品群と様々な印刷関連機材を提案し、多くのお客様に興味をもっていただく良い機会となりました。

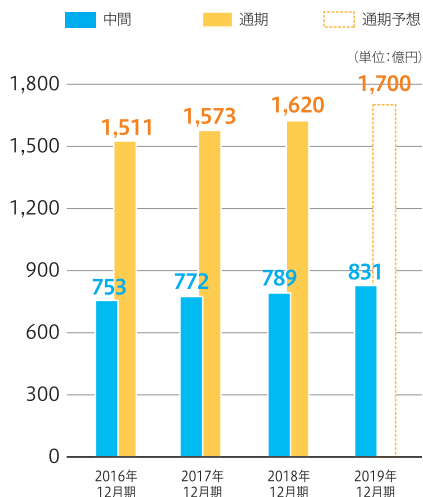


出展ブース

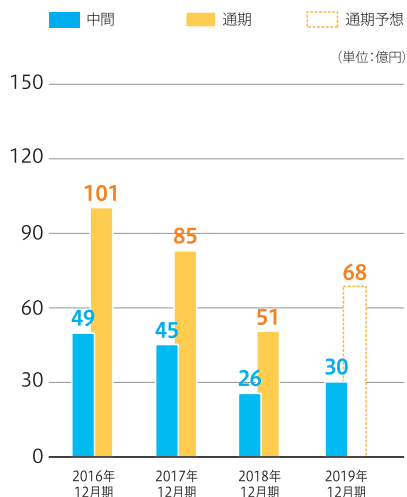
# 連結業績・財務ハイライト

## Consolidated Financial Highlights

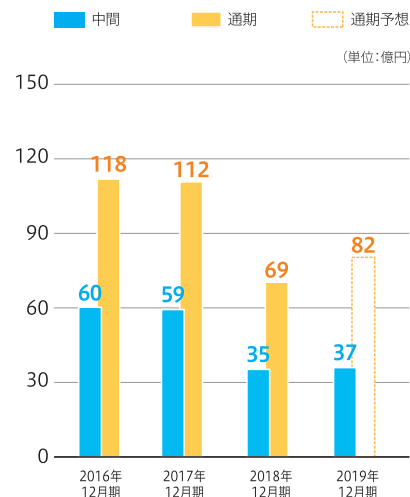
### 売上高



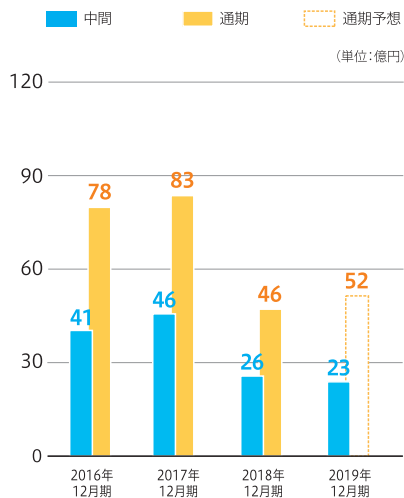
### 営業利益



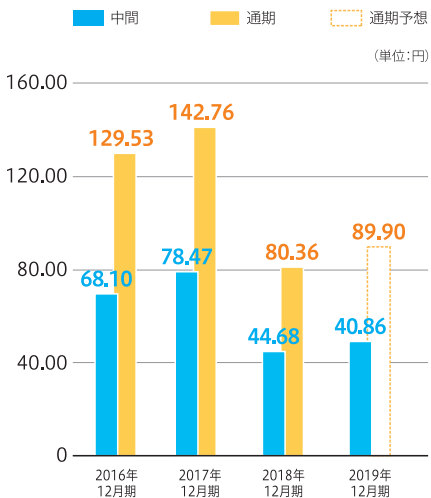
### 経常利益



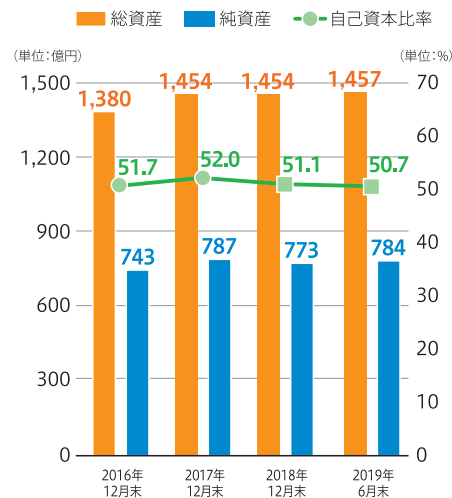
### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



### 1株当たり四半期(当期)純利益



### 総資産/純資産/自己資本比率



# 連結財務諸表

## Consolidated Financial Statements

### ■ 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	期 別	
	前期末 2018年12月31日	当第2四半期 連結会計期間末 2019年6月30日
<b>資産の部</b>		
流動資産	75,785	78,020
固定資産	69,709	67,734
有形固定資産	38,931	40,995
無形固定資産	590	1,290
投資その他の資産	30,187	25,448
資産合計	145,495	145,754
<b>負債の部</b>		
流動負債	49,233	46,756
固定負債	18,864	20,556
負債合計	68,097	67,313
<b>純資産の部</b>		
株主資本	77,528	78,639
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,672	5,672
利益剰余金	68,430	69,541
自己株式	△ 4,047	△ 4,047
その他の包括利益累計額	△ 3,220	△ 4,698
その他有価証券評価差額金	2,713	2,419
繰延ヘッジ損益	4	1
為替換算調整勘定	△ 4,549	△ 5,804
退職給付に係る調整累計額	△ 1,389	△ 1,315
非支配株主持分	3,090	4,499
純資産合計	77,397	78,441
負債純資産合計	145,495	145,754

\*百万円未満を切捨てて表示しています。

### ■ 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	期 別	
	前第2四半期 連結累計期間 2018年1月1日～ 2018年6月30日	当第2四半期 連結累計期間 2019年1月1日～ 2019年6月30日
売上高	78,938	83,167
売上原価	62,293	65,545
売上総利益	16,645	17,621
販売費及び一般管理費	13,964	14,569
営業利益	2,680	3,051
営業外収益	1,259	882
営業外費用	399	215
経常利益	3,540	3,718
特別利益	185	208
特別損失	56	192
税金等調整前四半期純利益	3,669	3,733
法人税、住民税及び事業税	822	1,021
法人税等調整額	118	10
法人税等合計	941	1,032
四半期純利益	2,728	2,701
非支配株主に帰属する四半期純利益	118	315
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,609	2,386

### ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

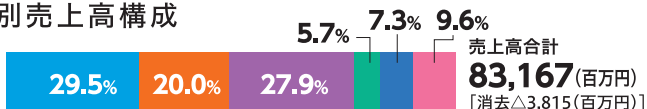
科 目	期 別	
	前第2四半期 連結累計期間 2018年1月1日～ 2018年6月30日	当第2四半期 連結累計期間 2019年1月1日～ 2019年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	916	3,056
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,549	△ 2,317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 411	△ 1,553
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 241	46
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 3,285	△ 767
現金及び現金同等物の期首残高	9,351	6,788
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,065	7,447

# セグメント別概況

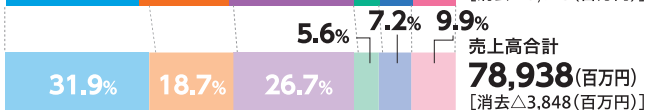
## Segment Information

### セグメント別売上高構成

第142期(中間)  
自 2019年1月 1日  
至 2019年6月30日



第141期(中間)  
自 2018年1月 1日  
至 2018年6月30日



- 印刷インキ・機材(日本)
- 印刷インキ(欧州)
- 印刷インキ(アジア)\*1
- 機能性材料
- 印刷インキ(米州)\*1
- その他\*2

\*1 当期より関係会社であったタイ・ブラジルの連結子会社化しました。

\*2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業および色彩関連機器事業等を含んでおります。

### 印刷インキ・機材(日本)

#### 売上高

**256億5千5百万円**

前年同期比 **2.9%減**

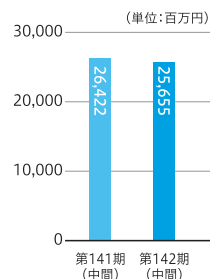
#### 主要製商品

フレキソインキ、グラビアインキ、新聞インキ、オフセットインキ、印刷製版用材料、印刷製版関連機器

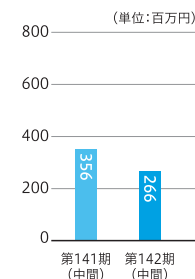
パッケージ関連では、フレキソインキは需要減の影響により低調であったものの、グラビアインキは飲料・食品関係を中心に比較的堅調に推移しました。印刷情報関連では、デジタル化の進展に伴う需要減の影響に加え、印刷用紙の供給不足による影響を受けたことなどから、新聞インキ、オフセットインキともに低調に推移しました。以上のことから、印刷インキ全体では前年同期を下回りました。機材につきましては、販売が低調であったことから、前年同期を下回りました。これらの結果、売上高は減収となりました。

利益面では、パッケージ関連を中心とした販売価格の改定及び全般的な経費削減が寄与したものの、印刷情報関連の印刷インキが低調に推移したことに加え、原材料高が影響したことなどから、営業利益は減益となりました。

#### 売上高



#### 営業利益



### 印刷インキ(アジア)\*1

#### 売上高

**173億8千4百万円**

前年同期比 **12.2%増**

(参考)

為替影響排除後 **14.9%増**

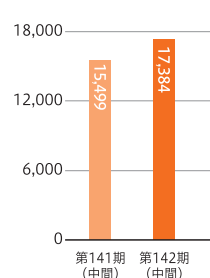
#### 主要製商品

フレキソインキ、グラビアインキ、メタルインキ、新聞インキ、オフセットインキ

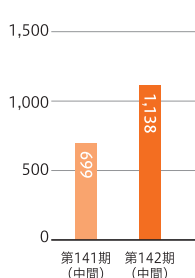
主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、競争の激化や需要の弱含みに加え、販売価格の改定の反動もあり一部で伸び悩んだものの、全体としては拡販が進みました。印刷情報関連では、競争が激化する中、オフセットインキ及び新聞インキが堅調に推移しました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けたものの、販売数量の増加及び販売価格の改定が寄与したことに加え、タイの子会社を連結の範囲に含めたことなどから、増収となりました。

利益面では、原材料高が影響したものの、新規連結による増益に加え、販売価格の改定効果が寄与したことなどから、営業利益は増益となりました。

#### 売上高



#### 営業利益





## 印刷インキ(米州)\*1

売上高

242億7千1百万円

前年同期比 9.8%増

(参考)

為替影響排除後 8.5%増

主要製商品

フレキソインキ、グラビアインキ、  
メタルインキ、オフセットインキ

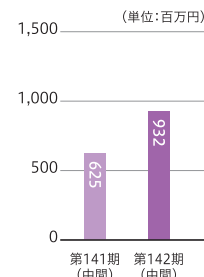
主力のパッケージ関連では、需要増加を背景として、高性能インキの拡販に向けた取組みが奏功し、フレキソインキ及びグラビアインキが好調を維持し、メタルインキも堅調に推移しました。印刷情報関連であるオフセットインキは、市場縮小の影響を受けたものの、UVインキなどが堅調に推移し、全体としては前年同期を上回りました。売上高は、販売数量が順調に増加したことに加え、ブラジルの子会社を連結の範囲に含めたことなどから、増収となりました。

利益面では、原材料高が影響したものの、販売数量の増加や販売価格の改定効果が寄与したことなどから、営業利益は増益となりました。

売上高



営業利益



## 印刷インキ(欧州)

売上高

49億9千4百万円

前年同期比 7.3%増

(参考)

為替影響排除後 13.1%増

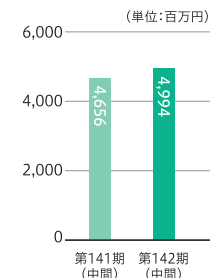
主要製商品

フレキソインキ、グラビアインキ、  
メタルインキ、オフセットインキ

販売体制の強化により、パッケージ関連の拡販が順調に進み、売上高は円高による為替換算の影響を受けたものの、増収となりました。

利益面では、一部の原材料価格の高騰が続くなど原材料高が影響したことに加え、販売数量の増加に対する生産体制の強化に時間を要しており、人件費や外注費などのコスト負担が高んだことなどから、営業損失が増加しました。

売上高



営業利益



## 機能性材料

売上高

63億2千1百万円

前年同期比 5.6%増

(参考)

為替影響排除後 6.6%増

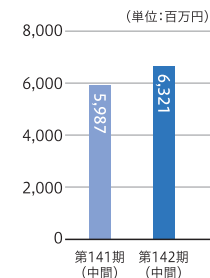
主要製商品

インクジェットインキ、トナー、  
カラーフィルター用顔料分散液、  
機能性コーティング剤

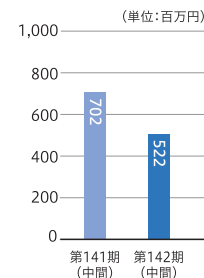
インクジェットインキ及びカラーフィルター用顔料分散液は販売が堅調に推移し、前年同期を上回りました。トナーは、販売が比較的好調に推移し、前年同期を上回りました。これらの結果、売上高は増収となりました。

利益面では、原材料高が影響したことや、販売構成の変化により利益率が低下したことなどから、営業利益は減益となりました。

売上高



営業利益



# グローバルネットワーク/CSR活動の取り組み

## Global Network/Approaches on CSR Activities

### ■ グローバルネットワーク



### ■ CSR活動の取り組み

当社グループでは、2030年までに達成すべき目標として国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」に基づき、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献できるよう、CSR活動を推進しています。

これまでも環境面、社会面でさまざまな活動を進めておりますが、今年度にはあらためて当社のCSR方針を明確にすべく、「サカタインクスグループ CSR基本方針」を策定しました。2019年6月には、ステークホルダーの皆様へ当社グループのCSR活動をより深くご理解いただくため、「CSR報告書2019」を発行しましたので是非ご覧ください。



CSR報告書2019



## 株主様向け情報

### Information for Shareholders

#### ■ IR活動の取り組み

当社は、株主や投資家の皆様が必要とする企業情報を適切に提供するため、IR活動に取り組んでいます。機関投資家向けのIR活動としては、「個別取材」の受け入れや「機関投資家訪問」に積極的に取り組んでおり、面談の回数も年々増加しています。また、個人投資家向けのIR活動としては、2019年1月に「野村IR資産運用フェア2019【新春】」に出展しました。

今後も当社の知名度向上と事業内容をご理解いただき、また話題性に溢れ、成長していく企業として認知していただくべく、IR活動に取り組んでまいります。



決算説明会

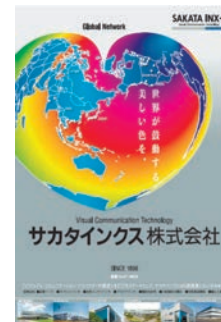


IRフェア

#### ■ 企業広告の掲出

東海道新幹線の新大阪駅コンコースと、東京駅北口(八重洲側)の大丸前通路に当社の企業広告を掲出しています。ダイナミックなカラーリングを施したハート形の世界地図が、視覚的印象から“心臓”を想起させ、それをキャッチコピーに活かし、「世界が鼓動する美しい色を。」としています。

お近くをお通りの際は、ぜひご覧ください。



企業広告

#### ■ 株主還元について

##### 配 当 金

2019年12月期の中間配当金は、1株当たり15円の普通配当を実施させていただくことになりました。

##### 株 主 優 待 制 度

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的に株主優待を実施しています。

##### 対象となる株主様

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様を対象といたします。

##### 株 主 優 待 の 内 容

保有株式数	継続保有期間	優待内容
1単元(100株)以上	1年未満	QUOカード 500円
	1年以上3年未満	QUOカード 1,000円
	3年以上	QUOカード 2,000円

継続保有期間とは、それぞれ、同じ株主番号で毎年6月30日および12月31日現在の株主名簿に、1単元(100株)以上の保有を下記のとおり、連続で記載または記録されていることとします。

1 年 未 満 : 直近株主名簿に記載が2回以下

1年以上3年未満 : 直近株主名簿に連続3回以上6回記載

3 年 以 上 : 直近株主名簿に連続7回以上記載

##### 贈 呈 時 期

毎年、定時株主総会終了後の3月下旬にお送りする「定時株主総会決議ご通知」とともに発送を予定しています。

# 株式情報

## Stock Information

### ■ 株式数および株主数

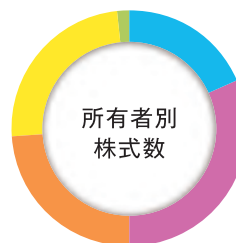
(2019年6月30日現在)

① 会社が発行する株式の総数	144,000千株
② 発行済株式の総数	62,601千株
③ 株主数	7,410名
④ 1人あたり平均持株数	8,448株
⑤ 大株主の状況	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東洋インキSCホールディングス株式会社	8,428	13.46
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	4,557	7.28
サカティンクス株式会社	4,202	6.71
住友生命保険相互会社	3,510	5.60
日本マスタートrust信託銀行株式会社(信託口)	3,170	5.06
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,088	4.93
株式会社りそな銀行	1,563	2.49
サカティンクス社員持株会	1,510	2.41
JP MORGAN CHASE BANK 380684	1,447	2.31
有限会社神戸物産	1,416	2.26

### ■ 株式の分布状況

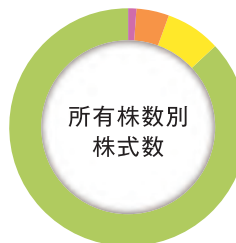
(2019年6月30日現在)



(千株) (株数百分率)

● 個人・その他	11,541	18.43%
● 金融機関	19,812	31.65%
● その他国内法人	15,028	24.01%
● 外国人	15,237	24.34%
● 証券会社	981	1.57%

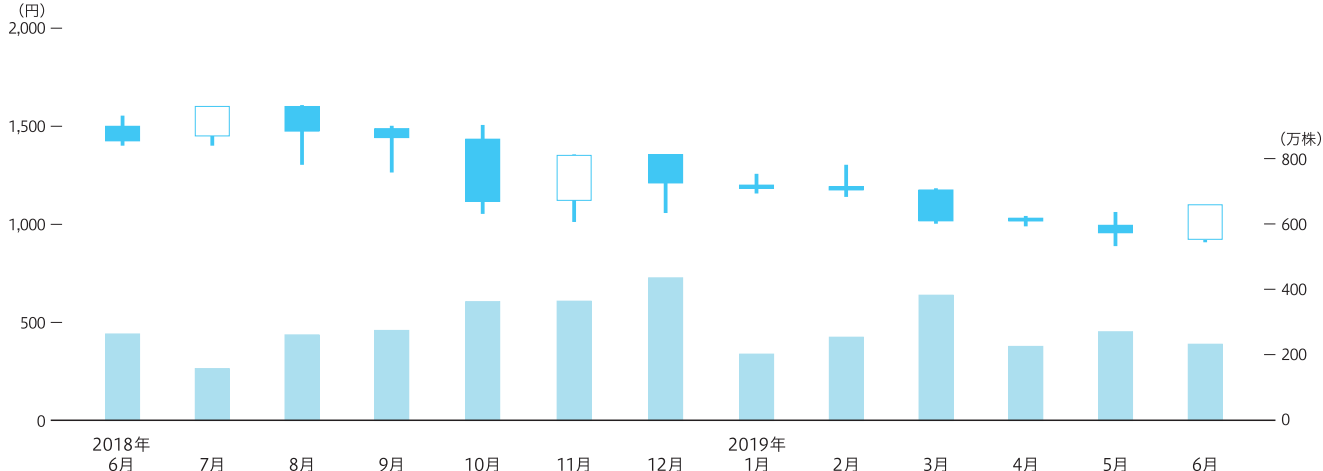
(「個人・その他」に自己名義株式を含みます)



(千株) (株数百分率)

● 百株未満	13	0.02%
● 百株以上	767	1.23%
● 千株以上	2,760	4.41%
● 一万株以上	4,774	7.63%
● 十万株以上	54,284	86.71%

### ■ 株価および出来高の推移



# 会社情報

## Corporate Information

### ■ 会社概要

(2019年6月30日現在)

創 業	1896年(明治29年)11月1日
設 立	1920年(大正9年)9月5日
資 本 金	7,472百万円 (百万円未満切捨て)
本 社	(大 阪)大阪市西区江戸堀一丁目23番37号 (東 京)東京都文京区後楽一丁目4番25号(日教販ビル)
事 業 内 容	各種印刷インキ・補助剤の製造・販売 印刷用・製版用機材の販売 電子機器・情報関連機材の販売 機能性材料関連品の製造・販売 輸出入
国内営業拠点	支社(愛知・福岡) 支店(北海道・宮城・静岡・石川・岡山・広島・香川) 営業所(青森・新潟・神奈川・長野・富山・福岡・熊本)
国内生産拠点	東京工場 (千葉県野田市) 大阪工場 (兵庫県伊丹市) 滋賀工場 (滋賀県米原市) 羽生工場 (埼玉県羽生市)
海外拠点	アメリカ・カナダ・ブラジル・スペイン・イギリス・ フランス・チェコ・イタリア・インドネシア・インド・ ベトナム・中国・フィリピン・マレーシア・タイ・台湾
従業員数	連結 4,492名(単体 862名)

### ■ ウェブサイトのご案内

ニュースリリースや会社概要、事業紹介、社会・環境活動の取り組みなどの最新の情報を掲載しています。詳しくは、ウェブサイト(<http://www.inx.co.jp/>)をご覧ください。



サカタインクス

Q 検索

### ■ 役 員

(2019年6月30日現在)

#### 取締役

代 表 取 締 役	森 田 耕 太 郎
取 締 役	中 村 正 樹
取 締 役	中 村 均
取 締 役	上 野 吉 昭
取 締 役	福 永 俊 彦
社 外 取 締 役	中 川 克 己
社 外 取 締 役	勝 木 保 美

#### 監査役

常 勤 監 査 役	手 島 泉
常 勤 監 査 役	森 貴 弘
社 外 監 査 役	佐 藤 義 雄
社 外 監 査 役	杉 本 宏 之

#### 執行役員

社 長 執 行 役 員	森 田 耕 太 郎
常 務 執 行 役 員	中 村 正 樹
常 務 執 行 役 員	中 村 均
常 務 執 行 役 員	上 野 吉 昭
上 席 執 行 役 員	福 永 俊 彦
上 席 執 行 役 員	森 田 博
上 席 執 行 役 員	西 田 利 行
執 行 役 員	杉 本 昇
執 行 役 員	芳 村 嘉 也
執 行 役 員	宮 田 明 夫
執 行 役 員	瀧 浦 雄 一
執 行 役 員	松 尾 晴 彦
執 行 役 員	濱 田 洋 一
執 行 役 員	筒 井 毅

# 株主メモ

## Shareholder Memo

- 事業年度 1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 3月開催  
基準日 定時株主総会 12月31日  
期末配当金 12月31日  
中間配当金 6月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人  
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-782-031  
(URL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 電子公告とし、当社ウェブサイトに掲載いたします。  
(公告掲載URL <http://www.inx.co.jp/>)  
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告  
ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所 東京証券取引所  
会計監査人 有限責任 あずさ監査法人
- お問い合わせ先 住所変更、単元未満株式の買取・買増等について  
株主様の口座のある証券会社にお問い合わせください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設され  
ました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井  
住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。
- 未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社まで  
お問い合わせください。

## 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続き  
が必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社など  
へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

### 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載  
し、税務署へ提出いたします。

- 主な支払調書 ○配当金に関する支払調書  
○単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引  
に関する支払調書

### マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様  
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様  
下記のフリーダイヤルまでお問い合わせください。  
三井住友信託銀行 証券代行部  
☎0120-782-031

## サカタインクス株式会社

- 大阪本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-23-37  
TEL 06-6447-5811  
■東京本社 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25(日教販ビル)  
TEL 03-5689-6601  
●ウェブサイト  
<http://www.inx.co.jp/>



この報告書は、FSC®認証紙/木材を使用し、インキ中のVOC(揮発性有機化合物)成分を取り除き、植物油成分に置き換えて開発した当社製のDiatoneエコピュアSOY CL-100Xにて印刷しております。